

令和7年度 事後評価シート

施策	27住民の暮らしを便利にするスマート行政の実現(D X)
K G I	①DXの推進による利便性・付加価値向上を実感している県民の割合 【基準値】－（令和４年度）【目標値】令和８年度まで毎年向上 ②DXの推進による業務効率化・生産性向上を実感している職員の割合 【基準値】－（令和４年度）【目標値】令和８年度まで毎年向上 ③デジタル総合戦略に掲げるD Xの進捗率 【基準値】－（令和４年度）【目標値】100%

【細施策シート】

策シート]

							担当部局		総務部			
細 施 策		27_01	行財政のD X推進					施策KGI		②		
K G I		県事業のKPI達成率										
		KGI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	100 %		目標値	100 %	
		基準値	66 %	実績値	66 %		実績値	65 %		実績値	63 %	
				達成率	%		達成率	65 %		達成率	63 %	
		ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価			成果進捗 評価	不調		成果進捗 評価	不調	
7 年 度	要因分析 【必須】	実績が判明しているAB事項のうち6割が目標達成、2割が達成率75%以上、C事項では7割が目標達成、1割が達成率75%以上となっており、多くの事業で概ね目標達成している。 なお、A事項のうち、達成率75%未満の事業では、事業目的と手段の乖離や見込み誤り等、仮説設定が誤っていたものや、社会情勢の変化等、県の裁量が小さいものが多かった。										
	見直し方向性 【必須】	目標未達成となった事業については、事後評価時に部局による見直し方向性の整理を行っているため、その内容に基づき、期中評価による進捗管理や、事前評価における仮説の設定が適切に行われるよう、KPIマネジメントの推進に取り組む。また、成果重視政策マネジメント制度についても必要な改善を機動的に行い、当年度執行及び次年度予算編成に切れ目なく反映できる体制を構築することで、細施策KGIの達成を目指す。										